

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活	児童館だより	毎月	乳幼児保護者 児童館利用者 洛央小雅小学校児童・保護者 修徳・成徳・有隣・豊園学区地域 下京区子どもはぐくみ室	児童館外掲示板 カウンター置き 地域自治会回覧 近隣小学校家庭数配布 ホームページ掲載	月行事予定 各種イベント案内 行事、活動のようす紹介 参加者募集	募集PRにより参加者増加 活動のようすの紹介好評 高学年、中高生への周知方法については、 可能な限り個人配布を行った。
	学童クラブだより	毎月	学童クラブ登録児, 保護者	うぇぶさくらにて配信	月間行事予定 お知らせ 行事、活動のようす紹介 参加者募集	たよりを通して活動への理解が深まった。 親子での会話のきっかけづくりとなった。
	地域子育てステーションたより 「インフォメーション」	年1回	児童館来館者 地域回覧 関係機関	活動時配布 関係機関への送付	児童館の利用案内	児童館の様子だけでなく、児童館理解につながった 児童館の活動内容等の説明に役立った。
	ポスター, チラシ	随時	来館者 乳幼児クラブ登録者 学童クラブ登録保護者 周辺地域 関係機関 館内外掲示	児童館掲示板 館内 周辺地域広報板 児童館通路 近隣小学校掲示 学童クラブ登録児住居地域掲示板 テラスの柵	開催行事内容と参加者募集	見やすく読みやすい広報作りに努めた。 掲示場所や見せ方を工夫した。 (拡大コピーや枚数を増やす等)
	中高生向けチラシ	随時	中高生世代	中学校配布、図書館掲示、ホーム ページ、おたより	イベントのお知らせ	これまで参加が少なかった世代だが、チラシを見ての参加 があった。
	たんぽぽ通信	毎月	乳幼児保護者 児童館利用者	関連施設配布	乳幼児の取り組み予定	掲載内容を見て来館する人が増加。
	ホームページ	随時更新	全域		各たより、ちらし、動画アップ	ホームページを見て来館する人が増加。 写真を使つての広報(カメラマンとのつながり)
	子育て応援パンフレット		保健センター乳幼児健診受診者	直接配布	下京4児童館の案内	
	図書館前掲示ポケット ・マタニティフォトチケット	通年 通年	全域(図書館利用者) 全域(図書館利用者)	持ち帰り用チラシ 持ち帰り用チケット	児童館の利用案内 マタニティフォトの案内	*28年度より図書館前児童館掲示コーナーを 新たに設置。毎月のお知らせやパンフレット 等を常に置いて広報活動をしている
	図書館展示	年1回	全域(図書館利用者)	おたより、ホームページ	こどもたちの作品展示、児童館の取組紹介	足を止めて見ている人が多くいた。小さい子からお年寄り の方まで様々な人が興味を示してくれた。
	図書館展示(エレベーター)	通年	全域(図書館利用者)	チラシ、児童館だより	児童館の行事・お知らせ 参加者募集	
	はぐくみ室HP子育て応援情報 こどもネット下京パンフ	通年	全域		児童館子育て情報	
	20周年企画(カウントダウン動 画など)	2021年7月~	全域	ホームページ、Instagram、 Twitter、メール配信、YouTube、お たより、イベント時に配信	地域の方や施設の方に出演協力してもら い、複合施設修徳20周年記念の動画を作 成。(カウントダウン&おめでとう動画)	地域や、児童館と関わりのある人たちと一緒に20周年のお 祝いをできた。
	きょうとっこえがお展(大丸京都 店コラボ)	通年	全域	児童館通路に掲示 Instagram	大丸京都店で実施したえがお写真の展示 を、終了後に児童館前の通路に掲示。	大丸の展示に参加できなかった方にも見てもらえた。写真 が大きく、インパクトがある。

動	目をつむる写真展2025	撮影(2024年11月) 掲示(2024年2月)	全域	四条通地下道	11月のにじいろマルシェスペシャルにて、多世代の「目をつむる写真」を撮影。2月に四条通の通路に掲示。	赤ちゃん、親子、中学生、職員など様々な人たちの写真を撮影。「目をつむる」というインパクトのあるテーマで、目を引いた。地下道の掲示により、様々な人に見てもらえた。
	LINEオープンチャット	随時	乳幼児クラブ利用者	オープンチャットにてメッセージ一斉送信	取組のお知らせ・写真の共有・児童館の開館情報や災害時・緊急時のお知らせ	クラブの登録や情報発信の手段で使用。今年度は試運転だが、今後も活用できそう。
	うえぶさくらメッセージ	随時	学童クラブ利用者	メッセージ一斉送信	児童館の開館情報や災害時・緊急時のお知らせ、帰宅時間の変更等	迅速な対応ができた
	X (旧Twitter)	随時	全域		取組の案内、お知らせ、利用者や職員のつぶやき	情報が速やかに伝わった。利用したことのない人も児童館を知るきっかけになった。
	Instagram	随時	全域		写真メインの児童館のPR	現代の情報収集のツールとして多くの人に活用されているため開設。写真を使用することで、よりわかりやすく「見える化」できた。
	Instagram (ストーリーズ)	随時	全域		24時間で消える投稿 リアルタイム更新	閲覧者が多く、前日に翌日の取組のお知らせをしたり、イベント時の状況を素早く更新するのに効果的だった。
	Instagram (ライブ配信)	1回	全域		イベントの様子の映像生配信	会場に来られない人も一緒に楽しめるように、生配信を実施。予想以上に多くの人が見てくれていた。今後も実施を検討。
	Instagram (タグ付け)	随時			一緒に活動した人やタイアップしたアカウントに相互にリンク	修徳児童館以外のアカウントからのアクセスがスムーズになり、閲覧数のアップにも繋がった。
	動画の配信	随時	全域	メール配信、ホームページ YouTubeチャンネル、 Instagramリール	取組やお知らせの動画	動画にすることで、より伝わりやすくなった。様々な人に見てもらえた。
	Googleフォームの活用	随時	児童館/学童クラブ利用者	メール配信	学童クラブ出欠の予定、登録制の取組申込、アンケート	スムーズに確認やまとめの作業ができた。今後も活用方法の幅が広がりそう。
京都市アプリ「ピアッザ」	随時	下京区・南区民		取組の案内、お知らせ	より幅広く且つ対象者に届くように利用。	
しゅうとくTシャツ(ユニフォーム)	通年	全域		イベント時にスタッフ全員が着用	Tシャツの後ろにQRコードを印刷。読み取ると児童館のホームページに飛べるようにした。	スタッフの目印としての効果と児童館のアピールの効果があつた。今後も使用していく。
職員紹介ポスター	2023年6月～	全域	児童館前通路 館内 インフォメーション内 Instagram 特養ホーム 法人本部	職員一人ひとりの顔と名前がわかるようにポスター風に大きく掲示(子どもも読めるようにひらがなバージョンも作成)	利用者やこれから利用する人に児童館の職員を知ってもらうきっかけとなった。また、多くの人々が在籍する法人内でも様々な人に周知してもらえた。	